

4月7日(土)

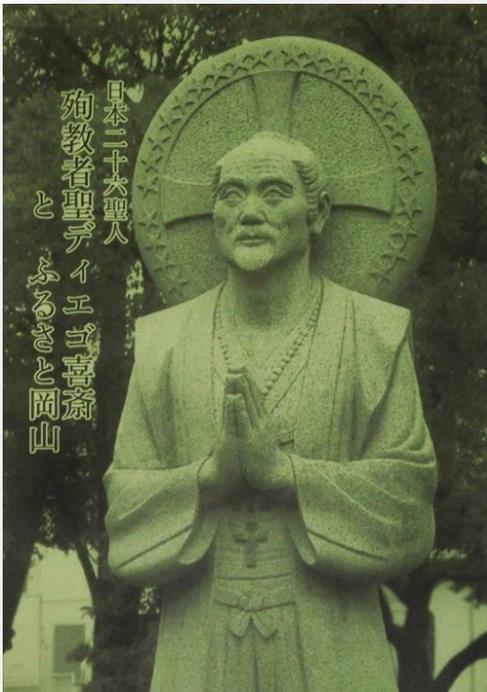
春なのに！花冷えの芳賀巡礼

岡山教会・殉教者巡礼地頭彰委員会

日本二十六聖人の一人聖ディエゴ喜斎のふる里に、花の季節に巡礼を行なうようになって4年目になります。今回は岡山教会から歩かれた方はおられず、途中の一宮から10名程の方が約5キロを歩いて芳賀の里「聖ディエゴ喜斎記念公園」に到着しました。水島教会からおも2人参加。以下参加者のお一人に巡礼記を寄せて頂きました。

過去二～三年は、記念碑の上を天蓋の様に覆う満開の桜の下、暖かな日差しに抱かれてミサに与かれましたが、今回は違いました。寒く冷たい風が吹きすさび、雨さえ降って来そうな中、様々な手違いから、野外ミサの開始時刻が40分近く遅れてしまい、参加者は震えながら立って待っていました。二十六聖人の苦難の事を思うと、口にすることも恥ずかしい程のことだけど、「その痛みを思い起こす小さなよすがと受け取れば、恵みの時となるのでは…」と言う人もあり、心に深く染み入りました。参加者は神父様2人（ロイ神父、ジョン・ボルドン神父）を入れて21人を数えました。

岡山教会の先人たちが、多大な労苦を厭うことなく整えて下さった、「芳賀巡礼」という祈りの形を、次の世代へと受け継いでいくために、私たちはどうしたら良いのか、建設的に考えていく時期が来ている様に感じた一日でした。



岡山教会では、聖ディエゴ喜斎について述べた小冊子（写真）を発行しています。初版発行後20年を越え、今迄A6判26頁と小さく高齢者には読みづらかったので、今年A5版に拡大し、写真は撮り直し、地図も書きかえて文字も大きくしました。

興味のある方は、岡山教会(☎086-222-4093 Fax086-222-4017)にお問合せ下さい。